EA115MF-2（ハンドスプレー）取扱説明書

Ver.2.0

このたびは、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用頂くために、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

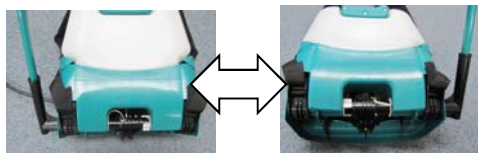
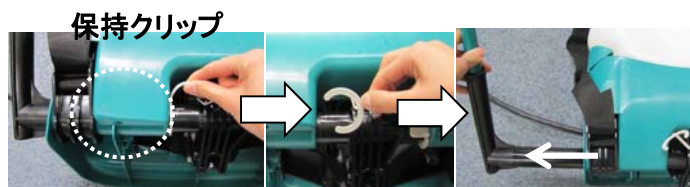
⚠ 注意事項

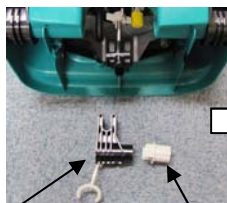
・ご使用前に取扱説明書を読んで内容をよく理解してください。
・ご使用前に全体的に異常がないか、ホースがしっかりと取付けられているか、確認してください。
　また長期間使用していない場合はご使用前に水で確認テストを行ってください。
・使用する薬品等の指示を確認し、注意深く従ってください。
・ご使用時には保護服(ゴーグル・フェイスマスク・長袖シャツ・長ズボン・手袋など)を着用してください。
　特に薬品製造元が推奨する保護服の着用をお勧めします。
・人や動物に届くところで絶対にスプレーしないでください。
・クリーニングやメンテナンスの前には　必ず圧力コントロールバルブを外して空気圧を下げてください。
・調整中にご自身や他の人にノズルや延長棒を向けないでください。
・可燃性の液体を入れて使用しないでください。本機が壊れてしまいます。
・アルカリ性・酸性・腐食性の液体を入れて使わないでください。
　部品が傷んだり腐食し壊れるばかりが、その結果怪我をする恐れが有ります。
・40℃以上の液体は使用しないでください。
・圧力コントロールバルブを傷つけたり仕様変更を試みないでください。本機が壊れてしまいます。
・ハンドルや底のネジをきつく締めすぎないでください。
　ネジを適正に締めることでネジ頭のつぶれや緩みを防ぎます。
・全ての準備が整うまで加圧しないでください。また加圧したまま放置しないでください。
・ハンドルやストラップを使って背負って運んでください。
・除草剤等農薬を使用した後はタンクやバルブを洗剤と水できれいに洗ってください。
・もしノズルが詰まったら圧力を掛け続けないでください。ノズルを外して洗浄してから加圧してください。
・取扱説明書に書かれている方法以外で使用した場合、また注意事項を守らない場合は
　怪我を負う危険性が高まります。

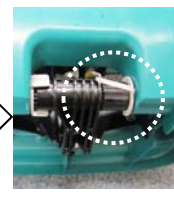
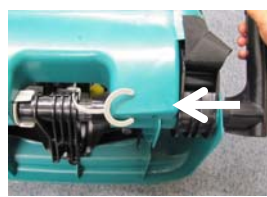
◆各部の名称

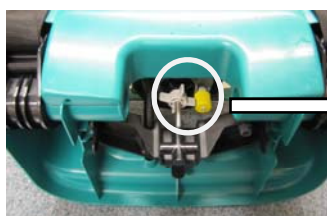
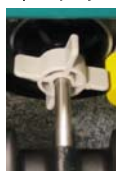
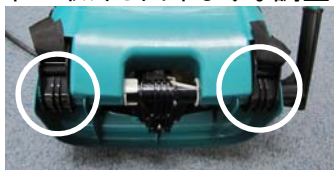
（ノズル先端）
（ポンプハンドル）
（キャップ）
（延長棒）
（バルブ）
（ホース）
（圧力コントロールバルブ）

◆使用にあたっての準備方法

1、ポンプハンドルは左右どちらでも使用することができます。
　使用状況に合わせて、ポンプハンドルの位置を変更して下さい。

タンクの底にある、保持クリップを外します。
ハンドルが外れるまで、引っ張ります。

保持クリップ

2、センタークランクと軸受筒を外し、センタークランクは向きを変え、
軸受筒は反対の穴に移し、センタークランクと軸受筒を取り付けます。
反対側の穴にハンドルを挿入し、保持クリップで留めます。

向きを変えて装着

（センタークランク）（軸受筒）

保持クリップで留めてください。

3、手でバルブと延長棒を取り付けてください。
必ず、きつく締め付けないで下さい。
4、混合溶液を使用する際は、注意事項を読んで必ず守ってください。
5、タンクの上のキャップを外して、ろ過網を通してタンクに溶液を注いでください。
6、キャップを元に戻して、しっかりときつく締めて下さい。
7、ポンプハンドルを操作して加圧して下さい。
8、ポンプの黄色の圧力コントロールバルブを回すことで、圧力を調整できます。
右に回すと、圧がより強くかかり、左に回すと圧が弱くなります。
9、パッキングシールナットがもし緩んでいる場合は、きつく締めつけ、
ポンプシャフトからの漏れを避けてください。

（パッキングシールナット）

10、下の取付けクリップは、両方のストラップの調整をするときに、背中に背負って後ろ向きでも、
簡単に取外し出来ます。調整後も簡単に取付けることが出来ます。

◆クリーニング

（実施することで、長くご使用して頂けます。）
1、圧力コントロールバルブを反時計方向に回すことによって、空気圧を放出します。
2、キャップを緩めて、残っているスプレーの液体を出してください。
きれいな水で完全に洗い流してください。
3、タンクにきれいな水を少しだけ残して、圧力をかけ、ホースに勢いよく流し、バルブから排出させてください。

◆トラブルシューティング

症状	考えられる理由	解決方法
加圧されない	1、チェックバルブ(19)が損傷している。 2、圧力チェンバーのOリング(20)が損傷 または擦り切れている。	修理をご依頼ください。
薬剤がポンプから漏れている	1、パッキングシールナット(26)が緩んでいる。 2、ポンプナットOリング(24)が損傷している。 3、ポンプキャップ(22)が損傷、 または擦り切れている。 4、圧力コントロールバルブ(29)が外れている。 5、ろ過網(18)が詰まっている。	1、手でしっかりと締めて下さい。 2、修理をご依頼ください。 3、修理をご依頼ください。 4、バルブを右に回して締めて、 圧力をかけてください。 5、ろ過網をきれいに洗って下さい。
薬剤が延長棒から漏れる	延長棒のキャップが緩んでいる。	しっかりと締めてください。
ノズルからスプレーが出ない	ノズルチップが汚れなどで詰まっている。	ノズルを外して、細い棒(ようじ等)で ノズルやキャップから詰まりを除いて下さい。

◆メンテナンス（分解）方法

1、パネル（6）の裏側にある3つのツマミを押して、外します。
外れましたら、底からパネルを引っ張って出します。
2、タンクの底部分の溝に、はめ込んであるホースを上に引っ張って取り外してください。
3、タンクの底から保持クリップを取り外し、ポンプハンドルを抜きます。
4、ネジが外れるまでタンクキャップ（5）反時計方向に回して、外してください。
5、タンクからポンプ筒を引き出します。
6、Oリング(17)に損傷や、擦り切れがないか確認して下さい。
必要であれば交換して下さい。
7、ろ過網（18）に汚れや残骸が残っていないか確認して下さい。
きれいな水で洗い流すか、必要であれば交換して下さい。

ろ過網（18）

8、圧力コントロールバルブ（29）のノブを反時計方向に回して、取り外してください。
損傷や、擦りきずがないか確認して下さい。必要であれば交換して下さい。
9、ポンプシリンダー（16）から圧力チェンバー（21）を取り外してください。
（取付ける際は、きつく締めすぎないで下さい。）
Oリング(20)が擦り切れていないか確認して下さい。必要であれば交換して下さい。
ポンプシリンダーの上にあるチェックバルブ(19)を取り外します。
チェックバルブのシール面を確認し、残骸が残っていないか、傷はついていないか確認して下さい。
加圧が終わるまで、必ずきれいな状態にしておいてください。
10、ポンプキャップの固定部品（22、23）が見えるように、ポンプナット（25）を回して外してください。
キャップの表面に擦り傷や亀裂などがないか慎重に確認して下さい。
ポンプシリンダーの壁面もまた擦り傷がないか確認して下さい。
過度の傷はポンプ機能を低下させてしまいます。
必要であれば交換して下さい。
11、ポンプナット（25）からパッキングシールナット（26）を取り外してください。
棒やナットの上の表面に傷がついていないか確認して下さい。
必要であれば交換して下さい。

ポンプナット（25）　パッキングシールナット（26）

12、ポンプナットのOリング(24)に損傷、擦り傷がないか確認して下さい。
必要であれば交換して下さい。
13、タンクにポンプ部品を再度組み立てる際の注意事項
ポンプキャップを締める前に、タンク底にある溝にきちんとホースをはめ込んで下さい。
ホースの位置合わせをしっかりしないと、使用中にホースがポンプ作用の妨げになることがあります。

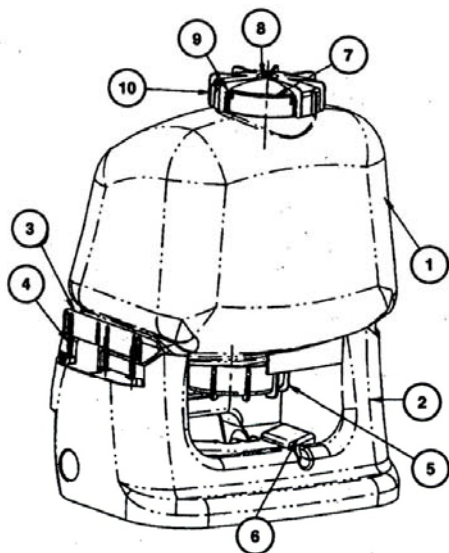



FIG. 1

FIG. 2

FIG. 3

FIG. 4

FIG. 5

FAN SPRAY TIP

ADJUSTABLE TIP
CONE TO STREAM

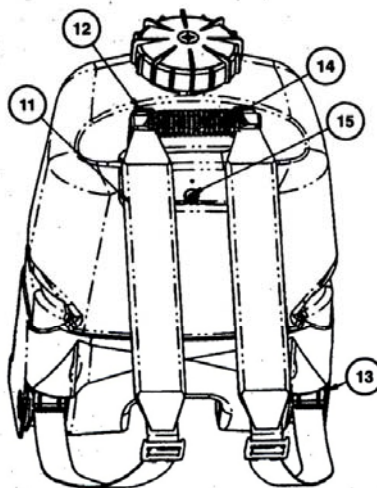
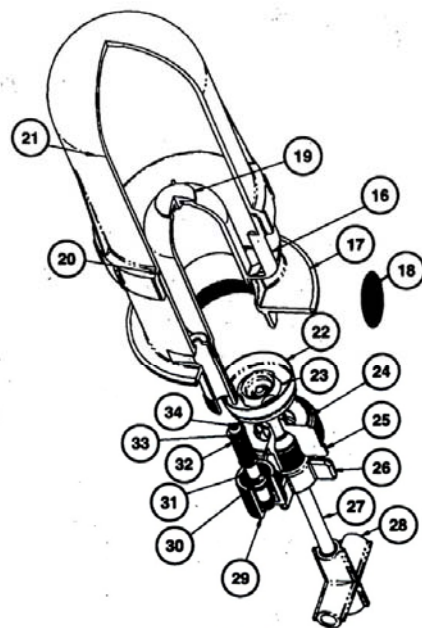
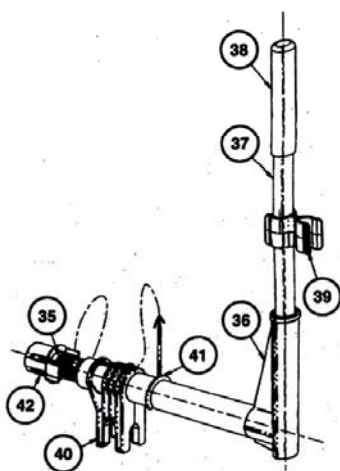
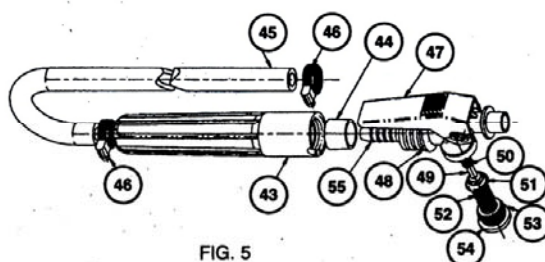
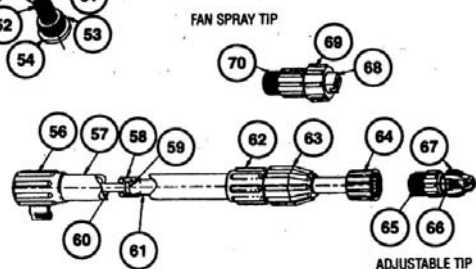



FIG. 6

※上記の部品図において、部品のみの供給はできません。

改造はしないでください。
- 本機の寿命を著しく損ねる場合が有ります。
- ご使用者が怪我をする場合が有ります。
- 作業行程に支障を来たす場合が有ります。

株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－１４
TEL：(06)6532-6226　FAX：(06)6541-0929

15.Apr.